

連携協定を結んだ関西福祉大学の安井秀作学長(左)と上郡高校の松崎隆幸校長＝関西福祉大学



# 関西福祉大と上郡高が協定

福祉、看護、教育分野で連携

出張授業や施設相互利用

地域社会に貢献できる人材の育成を目的に、関西福祉大学(赤穂市新田)と上郡高校(上郡町大持)は18日、「高大連携事業」に関する協定を結んだ。同大が公立高校と協定を結ぶのは初めて。

関西福祉大は2年前から、講義に上郡高校の生徒を受け入れるなどの交流を続けてきた。今回の協定は、同大が来年度から教諭や保育士を育成する「発達教育学部」を、同高校が2015年度から普通科に介護や看護などを学ぶコースを新設することを機に、福祉、看護、教育の3分野に関わる人材を連携して育てることが目的。

協定に基づき、2014年度から、同大教員による同校での出張授業や学校施設の相互利用、教員同士の意見交換などを進める。

協定締結式は同大で行われ、同大の安井秀作学長と同校の松崎隆幸校長らが出席。安井学長は「地域の看護や福祉を支える人材を輩出したい」と話し、松崎校長は「生徒の夢を実現させる教育に取り組む」と述べた。

(杉山雅崇)

神戸新聞

2014. 3. 19